

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
代表TEL：(0567) 26-3921  
FAX：(0567) 26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

### 死までの受け入れ／愛宕の家

まだ宅老所としての受け入れをしていた頃のことだった。平成17年4月18日(月)17:00頃だったか  
・・ちえこばあがやってきた。

背中が曲がっていて黒づくめの服に帽子を目深に被り、訝しげな表情で車からノソッと降り、キョロキョロしながら玄関まで歩き、躊躇せずに室内のソファにゆったりと座った。この日の夕飯はお蕎麦だった。“なんて嬉しそうに、なんて美味しそうに食べるんだろう♪初めての場所なのに拒否も抵抗もなく良かった・・・。”と感じたことを鮮明に覚えている。

いきなり京都から見知らぬこの土地に引っ越しを余儀なくされて初めて踏み入れる建屋の中で本当に自然な夕食がはじまったのだ。

認知症悪化のためケアハウスでの自立した生活は限界と判断され、急遽、海部郡在住だった長男家族が引き受けることになった様だった。しかし、自宅での介護は難しいとのことで知り合いに頼み込み、当時のナイス・デイ(小規模通所介護)&ナイス・ホーム(宅老所)に『何とか受け入れてもらえんかなあ〜。』と相談があったのだ。

ちえこばあが夕飯の最中、家族は契約などの書類業務を済ませ荷物を運び込んだ。後に引けない受入だ。

初日の夜から本領発揮だった・・・。バリバリの認知症と勝ち気で怒りん坊な気質。しかし、にっこり笑うと誰からも憎まれない状況を作れるくらいかわいいうちえこばあ。男の人にはメロメロな女で、同性の介護職から見たら“同一人物か!!”と言いたくなってしまいうくらい可愛かった。スタスタ歩くし身体は丈夫。細かい作業は大の得意。口は達者で弁が立つ。認知症さえなければ普通(?)のいじわるばあさんだ。

・・・静かに過ごしている時は、あっつと気付くと、布張りのソファの糸目をほどこいて中の綿を放り出す、カーテンの糸目をほどこいてただの布にしてしまう、枕カバーや布団カバー、自分の洋服の縫い目まで全ての糸を上手に上手にほどこいているのだ。その細かな作業の見事さには感心させられた。

・・・機嫌が悪くなるとどうにも手に追えない状況に一変する。うんこは壁に塗りたいくし、唾を吐くし、バルンも引っこ抜く。カーテンは引き千切るし、罵声が飛び、若い頃に受けた辛辣な態度を思い起こし何に対しても怒りまくる始末。介護にあたった者は全員、叩かれ、つねられ、ひっかかれるのは当たり前。順番に交代しながら様子を見ては試行錯誤で対応する毎日だった。あまりの元気よさに、介護業界に生きている私たちでも“ちえこばあだけは死なないかも?”とってしまう程だった。

そのちえこばあが死んだ。  
平成26年12月9日(火)死亡確認8:24

世間には馴染の無かった宅老所を改め平成19年11月20日に住宅型有料老人ホーム愛宕の家を開設。それに伴って、ちえこばあは入居者となった。

宅老所の時代、看取りを希望した本人が末期の状態となった時、家族や親族が「宅老所なんて得体のしれない施設は信用ならない」と嫌がる本人を押さえつけ病院へ救急搬送される様子を目の当たりにした。

それ以来、穏やかな最期を迎えてもらえる施設を作りたい・・・と今まで走ってきた。

ちえこばあは老衰。とても穏やかな最期だった。

前日も特に変わった様子もなく入浴し、いつもと同じ一人掛け用のソファに身を沈めてフロアで過ごす時間もあつた。皆、死が近いとは思っていたが、翌朝に息を引き取るとは思わなかった。

関わった皆が、ちえこばあの顔を撫でて・撫でて・撫でた。「本当に死んじゃった?」と言わんばかりに・・・。

こういう最期を迎えてもらえる施設であること、そして、ひとりの人の死を哀しめる職員達に感謝。(A・I)

### ＜12月予定＞

- 10日 外食DAY
- 14日 クリスマス会
- 20日 避難訓練
- 24日 誕生日&お楽しみ会
- 31日 大晦日

### ＜不定期行事＞

天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します

### ＜利用状況案内板(★募集中 ★満員)＞

★ナイス・ケア

★ナイス・デイ(定員10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
8	7	7	7	9	8	8

★ナイス・ホーム(登録者21名/定員21名)

★愛宕の家(入居者15名/定員17名)

★つしま紹介所 ★ナイス・キッズ

★打太鼓

～上記を参考にご利用下さい～

### ＜年末年始の営業＞

12/31-1/1 休業

・てのひら(喫茶)

12/31-1/2 休業

・ナイス・ケア(訪問介護)

・ナイス・デイ(通所介護)

・ナイス・キッズ(託児・学童)

休業無し

・つしま紹介所(有料職業紹介)

・ナイス・ホーム(小規模)

・愛宕の家(有料老人ホーム)

### プレッシャーに負けないやる気?/ナイス・ホーム

今年9月から来年2月にかけて、認知症実践者リーダー研修を受講させてもらっている。ケアマネ業務についていながらこの研修に参加させてもらえるのはとてつもなく有難いと思う。座学9日間・他施設実習3日間・自施設実習4週間という長期研修。一旦は自分で費用を支払うし、勤務扱いの受講を考えると、私ひとりに係っている会社の費用負担は大きいと分かっている。私が甘いから。私が未熟だから。それでも、私の成長を期待して費用と時間を費やしてくれるのだと思う。

そのプレッシャーをきちんと受け止め、実践で返せる私になりたい。

愛知県下の色々な施設の方が色々な形で参加している。

私は、他の小規模多機能事業所が気になるので、名札を覗き話しかける。「通いの定員調整が大変」「訪問の需要が今少ない」「毎日使いたって言われて説明に困る…」などなどの話がある。

ナイス・ホームは、現在、定員21名で登録は満員の状態。

色々な話を聞きながら、訪問・通い・泊まり全てにおいて(きっと・・・)個別対応を基本に、十分な?平等な?対応が出来ているのではないかと振り返ることができる。

H27年4月の法改正で登録定員の増加や定員10名のデイサービス事業所が小規模多機能事業所へ移行可能など、全くもって意味の分からない制度の変更内容が聞こえてくる。

どのような意を唱えようとも、介護保険制度の改正に待ったは掛からない。事業所としては波に乗るしかないのだろう。しかし、ナイス・ホームとして大切にしてきた経緯や関わりを忘れないように、地域密着型小規模多機能居宅介護事業所の意義を間違えないようにしたい。(Y・O)

### 男の子の成長/ナイス・キッズ

キッズ全員で“どろけい(鬼ごっこみたいな遊び)”をやっていた。

何の変哲もないほのぼのとしたいつもの遊び。しかし、突然5年生2人が取組み合いのケンカを始めた!!

Kが普段見たことのない形相で馬乗りになってTを殴っている。他の子供は息を飲み、数人の大人は“いざという時は間に入る”覚悟で見守った。数分後、どうにもならない悔しさで泣きじゃくり始めたTと、それを見て泣かせてしまった事実を驚いて手を止めたK。

Tは、「絶対にわざと足を蹴った!」

Kは、『何も言わずに後ろから殴ってきた!いつもは我慢するけど今日は我慢できなかった!わざと蹴ってない!』

今までも衝突することはあったもののKが控えることが多く、真剣にやり合ったのは初めてだと思う。真剣な取組み合いの喧嘩をして初めて見えた事実。力ではKに勝てないことに戸惑ったTは過呼吸に。いつもは我慢しているというKは感情を出してやり合えたことですっきりとして見えた。

出産後、母ちゃんの職場復帰と共に0歳でキッズ利用を開始したKと4歳でキッズ利用を開始したT。以降、365日を通して何だかんだと顔を合わせる機会の多い2人だ。喧嘩した翌日、一瞬バツが悪そうだったが、直後から普段通りの関係に戻った。男の子らしい成長を垣間見た気がする。(R・W)

## 求人募集

SOSと一緒に働きたい方、大募集  
介護保険法の改正、雇用制度の改正等々、全体の働き方の見直しも含め、介護が好きで人材集めをしたいと考えています。資格がある人大歓迎♪夜勤の可能な人大歓迎♪元気に働けるのであれば年齢制限ありません♪気軽に連絡下さい(担当:飯尾敦子)

小学1~5年生KIDが4コマ漫画を描き、その中で選りすぐりの一枚を選び、掲載♪

このじきは



### ＜編集後記＞

早いもので今年も最後の月になりました。

12月24日に受ける予定でいた情報公表調査はSOSのお楽しみ会と重なってしまい新年1月に変更調整をお願いしている最中。

来年は、法改正もあり、SOSの各事業所はどのように変貌を遂げるものかと模索中。

超高齢化社会に向けて、より良い介護サービスを提供したいと頑張る事業者が増えるような制度立案を期待したいものです。(A・I)